



UNHCR
The UN Refugee Agency

2010年7月12日

UNHCR、ナンセン難民賞はアリクサンドラ・ファツィーナ氏

ジュネーブ、2010年7月9日 - 国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)は9日、アリクサンドラ・ファツィーナ氏が2010年ナンセン難民賞を受賞することを発表した。英国人フォト・ジャーナリストとして戦争がもたらす人間の窮状を写し出してきたファツィーナ氏の功労へ贈られる。ファツィーナ氏は独特で印象的な写真ルポタージュを通して、強制的に家を追われた人の窮状を10年前から記録してきた。彼女は東ヨーロッパ、アフリカ、中東、アジアと活動の拠点を広げてメディアの主流が見落としてきた惨状を取り上げきた。

受賞にあたりファツィーナ氏は「UNHCRが私の仕事を認め、評価してくれたことを光栄に思う」と喜びを表した。「私の写真のほとんどは紛争などが原因で家を追われた難民や国内避難民などに対する認識を高めるために撮っている。故郷に戻ることをあきらめ、新たな地で生活を築いていくのは大変困難なことだが、そのような苦境に立たされている人が世界中に何百万もいるからだ。」アントニオ・グテーレス国連難民高等弁務官は、「ファツィーナ氏は家を追われた人たちの話を掘り出し、鮮明に表現することによってすばらしい仕事を成し遂げてきた。世界中の弱い立場にいる人に対する献身的な姿勢と問題の奥底まで掘り下げていく洞察力こそが、彼女を称賛すべき語り手にした」とファツィーナ氏の探究心と類まれな才能を評価した。

ファツィーナ氏はボスニアにおいて英国の従軍記者としてフォトジャーナリストのキャリアをスタートさせた。以降、彼女はレンズを軍事前線から難民キャンプへとフォーカスさせ、戦争がもたらす人間の苦境を記録した。コソボでの地雷の被害者、アンゴラで戦闘に巻き込まれる市民、レイプが武器として使われるシエラレオネ、コンゴやウガンダの民兵による幼児虐待、アフガニスタン、パキスタンの難民の現状などが代表作品の一部だ。ソマリアで2年間をかけて、難民や移民の大移動とそれに伴うビジネスとして、密航を撮り続けた写真は、作品集「A Million Shillings, Escape from Somalia」となり、2010年9月に発売が予定されている。ファツィーナ氏はよりよい生活を求めてアデン湾を渡ろうとする人の苦境をじかに撮っている。このような作品は湾岸沿いの荒れ果てた避難所にいる人と命がけで時を過ごした彼女だからこそ成し得たことだ。

ナンセン難民賞とは、1954年、当時の国連難民高等弁務官、ヴァン・ハーベン・グートハート博士が難民の窮状に焦点を当てるため、難民に多大な貢献をした個人または団体を称える目的で創設された。大規模な難民支援を先駆けて行なったフリチョフ・ナンセンにちなんで名づけられた。賞金の10万米ドルは受賞者の希望に応じて寄付することも可能である。

2006年には日本人として初めて金井昭雄氏が受賞している。オプトメトリスト（検眼士）として20年以上にわたり、世界の難民や避難民の視力検定を行い、眼鏡を提供する活動を通して、10万人以上の生活の質の向上に貢献してきた。本年度の授賞式はスイス・ジュネーブにて10月5日に行われる

国連難民高等弁務官(UNHCR) 駐日事務所 広報室
150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 6階
Tel 03-3499-2310 Fax 03-3499-2272
<http://www.unhcr.or.jp>

UNHCRの支援活動は皆様のご寄附に支えられています。ご寄附はUNHCRの公式支援窓口である国連UNHCR協会を通じてお願いします。国連UNHCR協会 Tel 03-3499-2450 Fax 03-3499-2273
<http://www.japanforunhcr.org>



UNHCR
The UN Refugee Agency

PRESS RELEASES